

シグナル



青少年の非行防止と
健全育成を願って



令和7年7月発行

あわら市少年愛護センター

青少年健全育成あわら市民会議

充実した夏休みに向けて

夏休みの生活について

自由な時間が増える夏休みは、つい気がゆるみ、不規則な生活になりがちですが、子どもが自分自身で学びや遊びなどを計画し実行できることで、自主性を育むよい機会にもなります。

そこで、お子さんがこの夏休みを健全に過ごせますよう、次のようなアドバイスをお願いします。

- ① 毎日、早寝早起きをして朝ごはんを食べよう。
- ② 学習や読書、遊びなどの時間を決めよう。
- ③ 家族の一員として家事などの手伝いをしよう。
- ④ 地域での活動に積極的に参加しよう。
- ⑤ 決められた社会のルールを守ろう。
- ⑥ スマートルールを決めて実行しよう。
- ⑦ 「いかのおすし」をわすれない。
- ⑧ 危険な場所へは行かない。立ち入らない。遊ばない。交通事故、火の事故、水の事故に注意!!



《 悩みごと相談 》

～ 一人で悩まず、まずお電話を ～

あわら市少年愛護センターでは、子どもたちに関する相談を受け付けています。非行やいじめ問題、その他子どもたちに関することでお困りでしたら、お気軽にご相談ください。ご相談は、下記少年愛護センターに直接お越しくださるか、お電話くださいますようお願いいたします。

子どもたち自身の相談も、もちろん受け付けます。悩みごとがあれば、一人で悩まず相談してください。

あわら市少年愛護センター

あわら市市姫三丁目1番1号（あわら市役所2F文化学習課内）

0776-73-8042（平日8:30～17:15）

※ 下記でも青少年に関する相談を受け付けています。

◇福井県 24時間電話相談 子供SOSダイヤル

0120-0-78310（365日24時間）

◇福井児童相談所 子ども虐待防止相談

0776-35-1781（365日24時間）

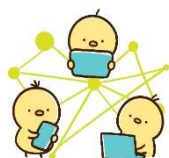
◇県警察本部 福井少年サポートセンター ヤングテレホン

0120-783-214（平日8:30～17:15）

あわら地区防犯ポスター・作文コンクールのお知らせ

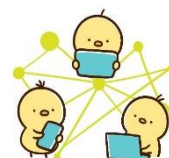
主催：あわら地区防犯ポスター・作文コンクール実行委員会

応募様式	○ポスターの部 四つ切、または八つ切サイズ画用紙 「応募票」に、タイトル、氏名（ふりがな）、学校名、学年を記載し、裏面に貼付してください。 ○作文の部 400字詰め原稿用紙2枚以上3枚以内 パソコンでも可（A4横方向縦書き） 「応募票」に、タイトル、氏名（ふりがな）、学校名、学年を記載し、添付してください。 原稿用紙1枚目の1行目から本文を書いてください。 ※ ポスターの部、作文の部とも未発表の作品に限ります。
テーマ	① 少年の非行防止に関すること（例：万引き、薬物乱用、携帯電話サイトの悪用 など） ② 防犯に関すること（例：自転車盗、空き巣、インターネット利用犯罪 など） ③ 特殊詐欺防止対策に関すること
応募方法	作品は学校の先生に提出してください。
応募〆切	令和7年9月1日（月）※ 各学校の〆切日を優先してください。



犯罪のきっかけとなるオンラインゲーム

～被害にあわせないために親ができること～



SNS がきっかけとなる犯罪において、子どもがオンラインゲームで結びついた人を通して、県外では強盗などの実行犯になってしまったり、国外へ行き、特殊詐欺グループに加担してしまったりということが起こっています。家の中で、ただオンラインゲームをしていた子どもたちが、巻き込まれています。

『オンラインゲーム上のリスクとして、保護者等に知っていただきたい事項！』

- ① 小学生など年少の利用者も被害に遭っている。
オンラインゲーム起因の被害児童数は小学生が年々増加している。
- ② ほとんどのオンラインゲームに「ボイスチャット」や「メッセージ交換」の機能が備わっており、匿名・不特定の者とも簡単にやりとりができる。
ゲーム中の会話において、性的な話題に興味を示した子どもを犯罪の標的とする者がいる。
- ③ 協力してゲームを行うことを通じて、見知らぬ者にも「仲間意識」を持ちやすい。
戦闘ゲームにおいて同じチームでプレイをし、「仲間意識」を強めて子どもの信頼を得た上で犯罪行為を行う者がいる。
- ④ ゲーム内における高価な「アイテム」の授与等の甘言を用いられ、犯罪者の言うことに従ってしまう。
ゲーム内で使用する有料の「アイテム」をプレゼントすることにより、子どもの信頼を得た上で犯罪行為を行う者がいる。
- ⑤ ゲームの上級者に対する「憧れ」の感情を利用される。
ゲーム攻略のアドバイスをするなど「ゲームの上手な優しい人物」を演じて子どもの信頼を得た上で犯罪行為を行う者がいる。

『今こそ、家族でオンラインゲームについて話し合っていたきたいこと』

オンラインゲームを含むネットトラブルは、子どもたちが誰にも打ち明けられずに、被害が大きくなる傾向があります。だから、何もトラブルに巻き込まれていないときこそ、家族でオンラインゲームについてじっくり話し合い、「家族オリジナルのルール」を作り上げておくことが大切です。決めたルールで規制するだけのものではありません。安全な使い方を一緒に確認していくものです。

※ ルールを決めるときに、ぜひ参考にしてほしい HP はこちら↓↓↓

・家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ / 総務省

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/parent-teacher/digital_citizenship/

子どもの普段の生活の中で、いつ、どのデジタル機器を、どのような目的で、利用しているかを振り返り、その子が守っていけるルールをつくったり、どのような使い方が安全なのかを話し合ったりできる HP です。

また、子どもがつくったルールを守っているかの管理が難しい保護者の皆さん、ぜひ、フィルタリングを含むペアレンタルコントロールを活用しましょう。



< 出典 >

「子供が犯罪に巻き込まれるきっかけとなるオンラインゲームに関する注意喚起」について/警察庁

https://www.npa.go.jp/policy_area/no_cp/images/prevent/image01.pdf

家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ/総務省

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/parent-teacher/digital_citizenship/